オーストラリア海外セーリング研修に参加して

江東区立小中学校セーリング部　和田　悠希

まずはじめにこのような貴重な機会を用意して下さったJJYUの皆さん、帯同して下さった小野澤さんや佐藤さんをはじめとしたコーチや保護者の皆さん、温かく迎えて下さったホストファミリーの皆さんやロイヤルパースヨットクラブの皆さん、チーム江東の浜崎コーチをはじめとしたチームのみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年度の海外研修で私は体調不良により、パースへ行くことができず、チームのみんなやJJYUの皆さんにとても申し訳なく、悲しい思いをしましたが、今回このような機会に恵まれてとても感謝しています。本当にありがとうございました。

私がこのJJYUの海外研修で学び、感じたことは7つあります。

1つ目はセーリングについてです。私は普段日本でILCA6に乗っていますが今回はILCA4で参加しました。現地のILCA4の選手はほとんどが私より体が大きく強風下ではとても速かったです。今後の体力づくりをより一層努力しなければいけないと思いました。

大会中に海上で話しかけてくれる選手がいたり、ハーバーでボール遊びや飛び込みをする選手がいたり、とてもフレンドリーな選手が多かったです。

また大会1日目の1レース目(ノーレス)では風が全然吹いておらず、日本であればAP旗を上げるような状態でもレースを続けたことに驚きました。

他にも、艇種が多いことが原因だと思いますが、5分ではなく3分シーケンスでレースが行われたので少し違和感を感じました。

2つ目は食文化の違いです。日本では普段お米を主食として食べますが、ホームステイ先では毎朝の朝食にシリアルを食べ、大会の昼食では少し乾燥したパンのサンドイッチ、フィッシュ＆チップスなど日本ではあまり口にしないものが多くありました。

特に私はシーフードが苦手でほとんど食べられませんでしたが、シーフード料理がとても多かったように思います。またホストファミリーと夕食に食べたピザは味が濃いものだったのでそのような部分にもいい意味で外国らしさを感じました。

3つ目は交通機関や街に関してです。私達は移動手段としてUber taxiを多く利用しましたが、日本では自家用車でタクシーの仕事をやっている人は今まで見たことがなく、とても便利に感じました。東京では電車やバスで移動することが多いですが、パースは車社会でほとんどの人々が自家用車で移動していることにも少し日本との違いを感じました。

また、現地でtranspearthという電車の公共交通機関を利用した際には多くの人が声量を気にすることなく話しており、とても賑やかに感じ、日本の静かな地下鉄とは違った良さがありました。

パースの市内を歩いていて感じたことは、どこにでもゴミ箱があるということです。日本はきれいな国ということを多く耳にしますが、パースの市内もとてもきれいでした。

4つ目は物価についてです。パースで水を買おうと安いものを探し、高いものだと6ドル、

安いもので２ドルほどでした。２ドルぐらいで売っている場所を見つけると「安いな！」と心の中で思いますが、AU ドルは１ドル 100 円ほどなので日本円で考えるたびに値段が高く感じ驚きました。日本では水道水を安心して飲むことができるので、日本の水道水のありがたみも感じました。

５つ目は自然についてです。パースの写真を検索すると、高層ビルの写真が多く出てきますが、パースやその近郊はとても自然豊かな場所です。実際に私のホストファミリーの家の近くで野生のカンガルーを何匹か見かけました。朝、起床した際には鳥の鳴き声がたくさん聞こえました。kings park も自然豊かでパースを一望でき、とても綺麗な景色を見ることができました。初日の夕方、ホストファミリーからビーチに連れて行ってもらった際には、平日であるのに多くの人がビーチで遊んでいたり、サイクリングやサーフィン、家族で芝生の上や砂浜でくつろいでいたりするなど、ライフスタイルの違いも感じられました。

６つ目は現地の方々についてです。ホストファミリーは昼食用に毎日フルーツとお菓子を用意してくれました。とても優しい人達でユーモアがあり話しているだけで楽しかったです。ホストファミリーの家で一緒にビリヤードをしたことも良い思い出の一つです。

買い物に出掛けた際の会計時の会話でも店員さんがサービスをつけてくれるなど、心の優しい人がとても多かった印象があります。

７つ目はチームメイトや友人の大切さです。もし私がパースに１人で行ったとしたら、今回の海外研修と比べて、楽しさは半減すると思います。なぜなら、困ったときに助け合える人や一緒に過ごしてくれる友達がいたからこそ今回の海外研修を本当に楽しめたからです。

私は今回の海外セーリング研修でこのような多くのことを学びました。この経験をセーリングに関することだけでなく、これからの人生に活かせるようにしたいと思います。